

学習指導案（番組を活用した授業例）

1 題材名「つめの手入れをしよう」


2 本時のねらい

- ・つめの手入れの仕方や手入れをする意味を知ることができる。

3 番組の活用について

- ・つめの手入れをするタイミングがわかる。
- ・手入れをしないと、自分や周りに人たちがけがをしてしまうことがあることを知る。

4 学習の流れ

		内容	指導上の留意点
導入	5	<p>①つめの手入れについて確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いつつめを切ったか覚えている人に切った日にちを発表してもらう。 →なかなか答えることができない場合には、事前に準備しておいた教師2名（※）に出てきてもらい、つめの長さを見せてもらい、いつつめを切ったか教えてもらう。 <p>○どちらのつめの方がいいか、児童に聞く。</p> <p>→必要に応じて、選んだ理由を聞いてみてもよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ教師側で、切ったばかりのつめの教師と、伸びすぎたつめの教師の2人（※）を準備し、児童が見比べられるようにする。（※）写真で代用も可 ・切ったばかりのつめに手を挙げる児童が多いと思われるので、それを受けて番組を観るようにする。
展開	35	<p>②番組を部分視聴する。（最後まで）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ストレッチは、動画を見ながら一緒に行う。 <p>③番組視聴後、自分の手のつめの長さを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○動画クリップを見返して、今の自分のつめの長さがどれくらいなのかを確認する。 <p>④つめの手入れ方法について聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○つめの手入れを自分でしているか、だれかにしてもらっているか聞いてみる。 →自分で手入れをしている児童がいたら、代表で実演してもらってもよい。 <p>⑤感覚運動あそび「つめ切りを使って花を作ってみよう」に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○つめの手入れを自分でしているか、だれかにしてもらっているか聞いてみる。 ○つめ切りをつかって、線に沿って色画用紙を切る活動に取り組む。 <p>⑥つめの手入れの大切さを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○番組中の、ストレッチマン・ゴールドや怪人に傷がついてしまったシーンを振り返り、つめがどのようなになっていると、どうなってしまうことがあるのかを確認する。 <p>⑦最後に、つめの役割についても話し、感覚運動あそび「足の指でタオルをたぐり寄せよう」にも取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・番組中では右肩のみのストレッチだったので、動画を止めて左肩も合わせて行ってもよい。 ・全体での動画クリップ視聴の他に、必要に応じて個別にタブレット端末等でクリップ動画を見返してもよい。 ・事前に連絡帳等で確認しておくもよい。 ・自分でつめの手入れをしたことがない児童は、教師と一緒に取り組む。 ・自分で手入れをしている児童でも、安全に注意して取り組むよう言葉掛けをしたり、見守ったりする。 ・必要に応じてストレッチマン・ゴールドや怪人が傷ついてしまった場面の写真などを用意するもよい。 ・自分専用のタオルを用意し、それを使うようにする。（感染症等の予防のため）

★ つめが伸びることを確認するために、1週間後に、再度つめの長さを確認する機会を設けてもよい。

5 評価

- ・つめを切るタイミングや、つめの手入れの大切さを知ることができたか。（知識・技能）（思考・判断・表現）
- ・感覚運動あそびに自分から取り組んだり、教師と一緒に取り組んだりすることができたか。

（知識・技能）（主体的に学習に取り組む態度）

